

6月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 77号

2024年7月23日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>

どうする？ どうなる？ 大山町の稲作

豊房の夕景

町内で動き出す

新たな取り組み

より自然な農業を求めて



荘田 國吉農園



若い人達が年間約20人働く職場

今、若者がやりたい農業
今農業に関心のある方は有機栽培に興味を持つ人が多く、國吉さんの知り合いで「米部」というコミュニティが作られ、有機米の栽培をしています。
大山町でもいくつかの手植えでのイベントが組まれ、多くの若い人が参加しています。



ハクナマタタ 坂本克之さん

國吉さんのご指導のもと、手植えでの田植えイベントを開かせていただきました。
自分たちが食べるものをより自然な形で自分たちの手で作ることは、本当に重要だと思いますし、みなさんの関心も強いです。

まちの話題 「ハクナマタタ」 平田集落にあるアフリカ体験施設。アフリカの体験だけでなく日本の伝統的暮らしも楽しめます。徒歩30秒で海。サーフィン・釣り・カヌー・SUPもできます。問合せ080-5234-5325エゾモ

ドローンで空からの種まき



宮内 馬田親子

モミは水に沈むように重くコーティングされ、8割くらいのモミが成長します。また、鳥に食べられることもありません。
苗を買ったり育てたりすることと比べたら断然安いです。
一度、田んぼをスキャンしたら自動で播け、技術も田植え機に比べて簡単です。



馬田雄一郎さん

馬田雄大さん

新しく浮き彫りになる課題

大規模化しても草刈り・水路維持は大変

種まきやその後の管理・刈り入れなどは機械化が進み大規模でできるようになってきましたが、草刈りや水路維持は人手が必要で農村集落の重要性が問われます。

ドローンで効率アップ
倉吉市にある県立農業大学校を卒業した雄大さんの発案により、3年前から、ドローンを使った直播(苗を植えるのではなく、種を直接圃場に播くやり方)が行われています。
田植え機を使用する従来のやり方に比べて、苗はばらばらに生えますが、収穫量は変わらないそうです。作業時間については、2反の田んぼを田植え機で作業すると30分ほどかかりますが、ドローンを使うと数分で終わるため、生産性がかなり向上したとのこと。機械購入費も、ドローンは田植え機と比べると安いいため、初期投資を抑えられるメリットも大きいようです。



積載量が50kgのドローン 大きいほど効率がいい

大山トリビア 「いちじランド」 中山地区にある個人宅。自分の庭を夏はプール、冬はスノースポーツの貸し出しで地域の皆さんに自腹で開放。全国紙のMONOマガジンにも前代未聞の遊び場として掲載された。

米離れは止められないのか?



かつては米も収益が見込める農産物でしたが、近年、採算の取れない稲作から離れる農家が増えています。なぜ米農家がこれほど厳しい状況に陥ってしまったのでしょうか。

大きな要因の一つとして、戦後のパン食の普及があげられます。これにより、お米の需要が減少し、米価も下がりました。かつては1俵あたり2万円以上で農協に買い取られていたお米が、現在ではその半額ほどにまで落ち込んでいます。参考までに、学校給食でも1食あたりのごはんの値段がパンよりも安価になっていることが、米価の低下を示す一例となっています。

1990年代
22,000円/俵(60kg)

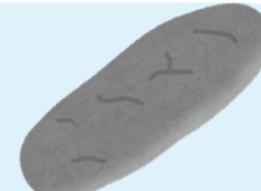
2020年代
11,000円/俵(60kg)

大山町の給食

米飯 週に4回
33円/食



パン 週に1回
62円/食

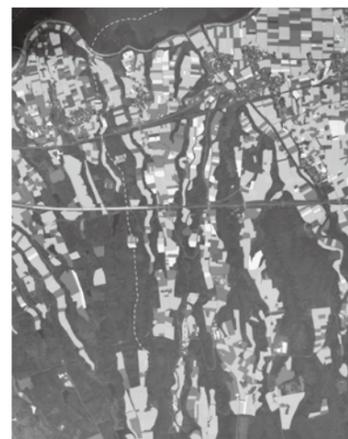


どうする? 10年後の担い手

現在、多くの米農家が赤字経営に苦しみ、農家の高齢化も進行しています。各地域で今後の農地維持方針について協議が進められていますが、10年後には農地の担い手がほとんどいない状況が予想されています。

特に稲作が中心の地区では、高齢化や農地を借りる農家の不足により、「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払事業」など、国の補助事業への申請条件を満たすことがむずかしくなっています。

この点、補助事業の事務手続きの簡素化や補助単価の見直しを求める声は強くなっています。また、担い手となる農家もつと稼げるように、前ページで紹介したようなスマート農業による規模拡大や、有機栽培による高付加価値化の取り組みも注目を集めています。



役場では10年後の担い手マップの作成を進めている

大山 トリビア 「オオサンショウウオ」 国の特別天然記念物。許可なく触ったり、移動させることは法律で禁止されています。蟹かごや用水路等、生息できない場所にいた場合は、商工観光課文化財室(電話0859-53-3136)までご連絡を。

オーガニックビレッジ宣言 という選択肢の検討も?

町をあげた有機農業の振興の取り組みを説明してくれました。



日南町役場職員 荒金太郎さん

日南町でオーガニックビレッジ宣言

日南町では、今後の米作の継続性を危惧し、令和6年4月にオーガニックビレッジ宣言を行いました。これは、国が進める「みどりの食料システム戦略」に基づくもので、2050年までに有機農地を25%に引き上げることがめざされています。

本町では、この取り組みを学ぶため、総務経済常任委員会で日南町の担当職員を招き、農林水産課とともに聞き取りを行いました。

日南町内で有機農業に取り組む法人では、令和6年秋に収穫されるお米について、現在の市場価格の約3倍での販売をめざしているとのこと。また、日南町では将来的に学校給食にも有機農産物を使用したオーガニック給食の提供をめざしています。

今回のお話をきっかけに、大山町での取り組みの是非についても、議会で議論を深めていきます。

大規模化しても残る 草刈り・水路維持の問題



水路維持がむずかしい

スマート農業などが普及し、10haを超える大規模農家に集積していても、水路の清掃や補修・維持管理には多くの人手が必要。農村落の人口は年々減っています。一人ひとりが頑張っていたら今の大山町の米作は支えられています。

町民の要望が陳情という形で、今年3月に提出され、ラジコン草刈機の補助金が6月には予算化されました。これからもみなさんの声をしっかり受け止めていきたいです。



大原議員

記者あしがき

農業、特に稲作の問題は非常にむずかしく、国レベルで対応しなければならぬ課題が多くあります。しかし、そのような状況でも、ドローンによる直播きなど、大山町ですですに新たな取り組みが始まっています。今回は紙面の関係上、ごく一部の事例しかご紹介できませんでしたが、多くの人からお話を伺うことができました。

また、大山町には他の町に比べて有機栽培に携わる人が多く、私自身もこの分野に個人的な関心を持っています。オーガニック給食の実現など、さまざまな施策についても議論を深めていきたいと考えています。

最後に、皆さんがお米を食べて、米価を上げる取り組みにご協力ください。

豊哲也

小規模農家が支える集落の重要性

まちの話題 「ええがな大山」 「ライフズクライミング」なかがや温泉で8月3日(土)午前10時/午後2時の2回上映。視力を失ったクライマーとその相棒がアメリカでクライミングに挑む姿を描いたドキュメンタリー。

チェックします

6月定例会

議案の質疑

ラジコン草刈り機購入費の補助

750万円

人件費や労力を抑え、より効率的な農業を実現するため、大規模水稲農家に対してのラジコン草刈り機の導入を支援する。

【Q】経営規模によって補助上限額が違う。それぞれ町内にいくつあるか。希望者が想定以上あったらどうするか。

【A】5〜10haの水稲農家が11経営体、10ha以上が8経営体ある。希望者が想定以上あった場合、追加予算要望を考えたい。



ラジコン草刈り機

経営規模5ha以上の水稲農家

補助率1/2
上限100万円

経営規模10ha以上の水稲農家

補助率1/2
上限150万円

それぞれ3件を想定

他町にはない支援を素早くやっていただきありがたいです。農業が持続できるよう、今後も大山町にふさわしい町独自の支援をしてほしいです。



農事組合法人大山カラマツ天狗 代表 矢田考志さん

イネカメムシ防除対策の支援

906万円

イネカメムシの被害が予想されるため、防除を行う水稲農家に対して、経費の支援を行う。

県事業への上乗せと単町事業である。

【Q】県事業は委託経費への補助となっているが、自前で防除した場合は対象外か。

【A】委託経費に限定なので、対象外。

地域全体の防除の推進が目的で、自ら防除できない農家の委託経費を支援する。

【Q】単町で実施する防除事業は、作付面積の6割を想定しているが、それ以上あった場合どうするか。

【A】追加予算を検討したい。

《県の防除支援事業》

対象品種：きぬむすめ・日本晴
委託経費補助額：
2000円/10a

《町の防除支援事業》

対象：主食用米・飼料用米
経費補助額：1000円/10a
計2回防除した場合1回分補助

コロナワクチン予防接種

3367万円

令和6年度からインフルエンザと同様に定期接種となった。

接種費用1万5300円のうち自己負担額は2000円(生活保護受給者は0円)。

対象者は65歳以上と60〜64歳の重症化リスクの高い人。

【Q】コロナワクチン予防接種の危険性をどうやって把握しているか。

【A】ほかの予防接種に比べて健康被害の認定が多い。

【Q】本町のコロナによる死亡者数は。

【A】本町の死亡者数は把握していない。

【Q】接種券は対象者全員に配布するのか。

【A】接種券の発送は、秋以降にインフルエンザの接種券も同封して行う。

【Q】コロナワクチン接種の危険性を周知する内容のものを同封する予定か。

【A】予防接種の有効性、安全性、副反応などの説明書を同封する。

【Q】健康被害救済制度の周知は。

【A】町ホームページなどで周知したい。

予防接種の効果とリスクを考えると、私は接種をしないかもしれませんが。でも、心配な人は2000円でできるので、いいことだと思います。



二宮久子さん(小竹)

イノシシ解体処理施設の増築

2203万円

ジビエ振興会の猪捕獲活動で被害が減り、ジビエ利用頭数も増加中である。だが、猪肉ニーズの高まりによって、冷凍庫の容量が不足し、受け入れ抑制と捕獲活動の停滞が続いている。

そこで、冷凍庫を備えた備品収納倉庫を増築するもの。

【Q】町長はジビエ工房の運営に補助しないと聞いていたが。

【A】運営には補助しないが、増築にはする。

【Q】被害状況は。

【A】被害額は平成30年245万円、令和5年32万円となり成果が上がっている。

イノシシ肉のふるさと納税返礼品の金額では、大山町が全国トップクラスです。これからもしっかり捕獲して、大山町に貢献したいです。



大山ジビエ振興会 会長 安達忠良さん



【Q】猟師の状況は。

【A】猟友会員は62人だが、高齢化が進み10年後が心配だ。対策を考えている。

まちの話題 「ハイアンカフェBIG WAVE」 ハワイをテーマにしたカフェが御来屋にOPEN。目の前に広がるオーシャンビューを、こだわりのガーリックシュリンプとどうぞ！他にもハイアンなドリンクメニューもたくさんあります。(080-8721-4991)

大山トリア 「大山おこわ」 伝統の100年フード部門〜江戸時代から続く郷土の料理〜に認定されました。100年フードは、文化庁が地域に根付く食文化を100年フードとして名付けてPRしていく新制度です。

白熱討論

4月23日 臨時会

7対7 議長採決で可決! アウトドアライフ事業条例案



進出が決まったノースフェイス（写真は白馬店）

【概要】
 大山にアウトドアブランド事業者などを誘致するため、貸施設を設置する。使用者は公募で決定し、使用料を月額40万円（共益費込み）とするもの。
【質疑】
 この条例は、令和5年12月定例会で提案されていたが、事業の公益性や、業者選定プロセスの不透明性から反対議員が多く、否決されていた。
【質疑】
 事業の目的や効果は、大山寺エリアの空き店舗などを活用して、新たな事業を展開し、国立公園大山の景観の維持とともに、地域経済を活性化させたい。新たな大山の魅力として、アウトドア関連で集客力のある事業者に来てもらい、周辺事業者との連携によりさまざまな事業活動も増えることを期待している。

【12月議会で提案していた条例が今、急いで条例制定する理由は、】
 事業者公募の要件に、「地域の事業者等と連携しつつ地域経済循環を促す活動を積極的に行うことができること」という内容を加えた。また、施設の使用期間について、5年を上限（更新は可能）としていたが、撤退のリスクがあるとの意見もあったので、今回の条例では上限を20年にした。使用料について、今後の修繕料負担を考慮し、共益費として別に月5万円をもらうことにした。



反対 小谷議員「公共性はどこに」

町民からは「お店ができることは喜ばしいが、やり方に疑問がある」といった声や、「行政がやることか?」と厳しい意見ももらっている。事業の公共性はどこにあるのか、町民にとって、どのようなメリットがあるのか、「にぎわいづくり」というでかい話でなく、具体的に示してほしい。



賛成 大杖議員「大きなインパクト」

大山寺地区の多くは、どのような企業であれ進出してもらい、時代とともに変わる新しい大山を望んでいる。この事業は、大山町のみならず県西部の観光振興と発展に大きなインパクトがある。



反対 西本議員「過去にも問題」

公共施設の建設であり、公平公正に行う必要がある。本案では、建物が建つ前に家賃が決まるが、事業者側に偏り、急いでいる印象を受ける。大山町は過去にもいろいろ問題があったのでシビアに見る必要がある。もう少し慎重に進めてほしい。



反対 池田議員「住民に説明できない」

新しいアウトドアショップに来てほしいが、疑惑がある中で賛成できない。税金で行う事業であり、現状は住民に説明できる状況になっていない。

議員名	小谷	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※賛否同数のため議長採決

6月 定例会

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情



賛成 大森議員「核廃絶のまち宣言をしている」

大山町議会は、平成17年に、「自由で平和な社会と世界の恒久平和の実現を目指すため、全ての核兵器の1日も早い廃絶を願う」として、核兵器廃絶平和のまちであることを宣言している。

核兵器をなくすため、地方議会から、政府と国会に向けて核兵器禁止条約への署名と、批准を求めていくことが賢明だと考える。



反対 豊議員「抑止効果は必要」

日本は、広島でウラン型、長崎がプルトニウム型、わざわざ違う原爆を2発落とされている。これは本当に許されるべきことではない。

しかし、核兵器を持たないことで、国際間の争いが解決すると思わない。核兵器を持つべきとは言わないが、核攻撃したら反撃されるかもしれないというところから核兵器の効力があり、そうした可能性を、自ら潰すような陳情には反対する。

議員名	小谷	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×

大山 トリビア **【賽の河原】** 死者の魂が集まるとされている河原。大山では死者に出会える場所とも言われ祖先を敬う人々が集まり、魂が集まる場所に常に地藏菩薩の力が届くよう、賽の河原は金門の内側に位置しています。



反対 豊議員「説明不足だ」

審議不足、説明不足である。使用期間5年を20年にしてもリスクヘッジにならない。経済波及効果も、公募要件に地域経済循環を加えただけで実現できるか疑問である。重要な議案なので丁寧に扱ってほしい。



反対 近藤議員「議会軽視だ」

事前の説明時間はわずか5分ほどで、あまりに議会軽視だ。建物のイメージ図もないまま、3億円の建物の賃貸料が先に決まることはおかしい。大山観光をこれからどうするか、行政と地元の事業者との役割をしっかりと整理してから事業に向かうべきだ。

大山 トリビア **【大山もひとり神事】** 毎年7月14日、15日に大山で行われる神事。14日に大神山神社奥宮で夕祭が行われた後、15日深夜1時半の派遣祭を経て大山山頂へ向かい、頂上付近の石室で神祭執行後、霊水と薬草を採取する。

一目でわかる審議結果

4月臨時会
6月定例会

○主な議案（賛否が分かれた議案など）

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案など	議員名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大枝正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果
臨時議会 条例の制定																
第55号大山町アウトドアライフ事業促進施設の設置及び管理に関する条例の制定について ※大山議会初の議長採決! 詳細は10ページ		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決 (議長採決)
定例会																
大山町羽田井辺地に係る総合整備計画の策定について 獣肉解体処理施設増築工事に充当予定で知事との事前協議が整っているもの		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成13名)
補正予算																
一般会計補正予算(第3号) 主な事業として 獣肉解体処理施設管理事業(冷凍庫増設事業) 未熟児養育医療給付事業(不足分を補正) 社会福祉総務費(出産育児一時金の不足)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決 (賛成12名)
請願・陳情																
光徳子供学園の運営に関する陳情書 大山町名和 児童養護施設 光徳子供学園 理事長 田中 浩之		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (全会一致)
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情 米子市米原 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 先瀬 文広(他1名)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (全会一致)
地方財政の充実・強化を求める陳情 鳥取市南町 自治労鳥取本部 執行委員長 三浦 敏樹(他1名)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (全会一致)
日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情 米子市富益町 原水爆禁止鳥取西部地区協議会 理事長 松原 光男		○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	不採択 (賛成6人)
雪不足及びエネルギー他原材料費高騰に対する引き続きの支援のお願い 大山町西坪 大山町商工会 会長 山根 均(他2名)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (全会一致)

○全会一致で可決・同意・採択した議案など ※議案などの採決は、米本隆記議長を除く14人で行います。

4月臨時会・・・令和6年度補正予算(2件)、専決処分(4件)

6月定例会・・・令和6年度補正予算(10件)、条例改正(3件)、計画変更(2件)、財産譲渡(1件)、委員推薦(1件)、発議(2件)

大山 トリビア 「ブロッコリー」 町の特産品のブロッコリー。食物繊維やビタミン、ミネラル(カリウム、鉄)が豊富で、中でも食物繊維とビタミンCの含有量はずば抜けて多い。

請願

陳情

あなたの声は 行政を変える!

このコーナーでは、町民が請願や陳情を通じて議会へ要望した結果、実際に行政の方針が変わったり、影響を与えた事例を紹介します。

事例紹介 福祉関連施設 YSS だいせん (大山町安原)

- 事業内容**
- 障がいのある人の就労に向けた訓練
 - 独居高齢者や買い物などが困難な人の支援
例) お弁当の配食サービスなど

背景 生活に困っている人を支援する機会が多いため、物価が上昇してもサービスの価格を上げることがむずかしい。

行政への要望

- 要望① 運営費に対する支援をしてほしい
- 要望② 福祉関連事業者の連絡協議会設立の支援をしてほしい

3月議会にて陳情が採択され、議会からも行政へ働きかけました。

結果…

前向きな方針が示されました!

担当課の回答

運営費について

運営費の直接支援はむずかしいが…
販路紹介など間接支援をします。

連絡協議会について

町内の連絡協議会設立の支援をします。

請願・陳情の出し方

まずは、お近くの議員や大山町役場 議会事務局にご相談ください。

TEL 0859-54-5213

皆さんに生きがいを持って生活していただくために活動しています。今回の連携でさらに支援体制を充実できると思います。



左からYSSだいせんの宮本さん、入澤さん、宮永さん

まちの話題

「NYアーティストデビュー」 The Blessing Artist(微笑みを恵む絵を描く人)福留信子さんのお母さまが亡くなられた時の思いや最後の贈り物を描いた作品「幸せの棺」が、入賞しニューヨークのギャラリーで展示されました。

長寿支援課 地域介護予防活動支援事業

「通いの場」事業のその後で議会が
認識していた内容に修正 (詳細は議会だより76号11ページ)

きっかけ

利用団体からの要望があった。

何がどう変わった

これまで対象だったお茶やお茶菓子が、令和6年4月から活動費として認められなくなった。

今までどおり、お茶やお茶菓子が活動費の一部として認められた。

補助額

右の表のとおり

補助金額の上限(ひと月あたり)

参加人数	実施回数			
	1回	2~3回	4~7回	8回以上
1回平均 5~10人	5000円	8000円	10000円	12000円
1回平均 11人以上	8000円	10000円		12000円

※お茶菓子も対象に含まれる

中学生議会の声が町政に届いた!

幼児・学校教育課 学校トイレ洋式化

学校トイレの
環境の改善へ

- 令和7年度から小・中学校の洋式化改修予定
- 改修内容はこれから話し合っていく
- 校舎、体育館、屋外と同時進行で進めていく

町民の声

希望が現実になって、すごくうれしい。同級生からも中学生議会に参加したいと声があった。私もまたチャレンジしたいです。



各校のトイレの状況 (多目的トイレを含めた数)

学校名	校舎			体育館・武道館			屋外トイレ		
	洋式	和式	洋式率	洋式	和式	洋式率	洋式	和式	洋式率
中山中学校	8	20	28.6%	2	6	25.0%	2	8	20.0%
名和中学校	6	15	28.6%	2	1	66.7%	0	2	0.0%
大山中学校	9	20	31.0%	2	2	50.0%	0	0	—
計	23	55	29.5%	6	9	40.0%	2	10	16.7%

大山 トリビア 「指定野菜」 日本の食卓に欠かせない重要な野菜として国が指定する野菜のこと。1974年のじゃがいも以来、52年ぶりに15番目の指定野菜としてブロッコリーが仲間入りした。

建設課 子育て住宅整備事業

「児童遊園」の
考え方は

予算額
17
億円



住宅整備費算出根拠図

どんな内容?

民間資金を利用して、民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法を用いて、若者向けの子育て住宅整備を行う。

場所は大山中学校北側の県道沿いで、令和9年3月入居開始予定。

【問】 図面にある「児童遊園」は住宅入居者だけの利用か。公園として周辺住民に開放しないのか。
【答】 この地区には町営公園がないので、今後検討していく。

町民の声

この地区は、子育て世代も多い。全世代集える公園を併設または隣接してほしい。



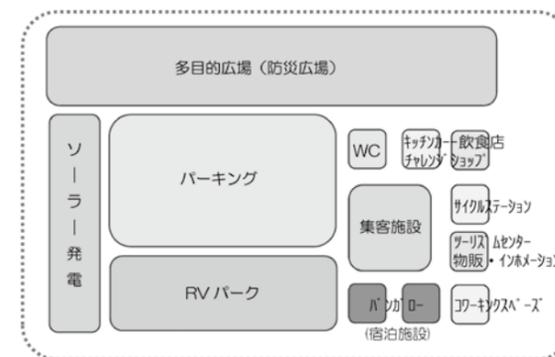
本池友貴さん(大山口)

商工観光課 淀江IC周辺用地活用

提言書の
今後の扱いは

どんな内容?

西部総合事務所や米子市観光課・大山町観光課・地元農協・地元まちづくり団体などによる3回の審議会がされ、このたび4.2haの広大な県有地を、観光と防災の切り口で整備する提言書がまとまった。



敷地活用イメージ

【問】 用地の9割が本町にあるのだが、今後の展開は。
【答】 西部地区全体に寄与する交流拠点にしたい。地元の本町が旗を振りたい。

町民の声

共感できるものが多数あり、良い提言書となっている。内容を精査して、県へ要望を上げて下さい。



大山の里 所子 会長 角田直史さん(神原)

大山 トリビア 「緑花椰菜(みどりはなやさい)」 ブロッコリーの和名。明治時代初頭に西洋野菜として入ってきたと言われ大山町の特産品。ビタミンCを多く含み、カロチンやビタミンB1、B2も豊富な栄養価の高い緑黄色野菜です。

12人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問



◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
16	1. 防災対策の強化で安全安心な暮らしを	杉谷 洋一
17	1. 大山町の学校教育を問う	吉原美智恵
	1. オーガニックビレッジ宣言・オーガニック給食について 2. 本町の観光について	豊 哲也
18	1. こども達の健康状態や運動能力は 2. 高齢者にやさしい施策の検討は	西本 憲人
	1. 家族農業(中小規模農業)に経済的支援を 2. 子どもの均等割国保税は免除か軽減措置を 3. 就学期の子育てと学校の教育条件整備にかかわって	大森 正治
19	1. フレイル予防にもつながる健康づくりを	池田 幸恵
	1. イネカメムシ防除対策について	大原 広巳
20	1. 道の駅大山恵みの里について	島田 一恵
	1. 副町長の役割は 2. 地方創生監の役割は	小谷 英介
21	1. 防災・減災対策を一層高めて安全なまちに 2. 消滅自治体からの脱却施策は	岡田 聡
	1. 町の広報はどう考える	野口 俊明
22	1. 人手不足、人材不足の対策は 2. 第三次総合計画の策定について	近藤 大介

大山町の学校教育は

町長 英語教育などの充実をはかる

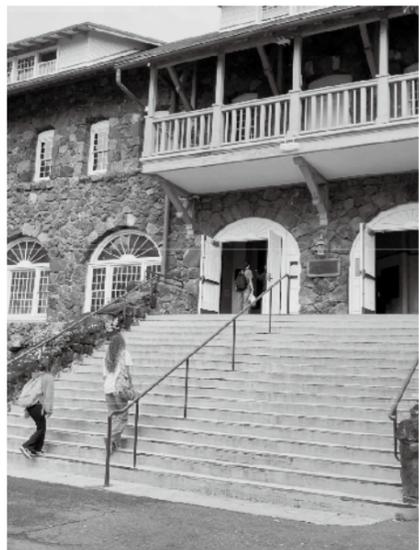


よしほらみ 吉原美智恵 議員

【吉原】英語教育の充実として、短期留学プログラムが計画されたが、その意義は。
【町長】英語教育の充実をはかるためハワイの私立学校への留学を実施する。

【吉原】20万円の費用負担は高額であり、不公平感が残るのではないか。

【町長】低所得世帯は費用が減額になる。
【吉原】今、オンライン英会話や、ALTの全校配置など、他にない取り組みがあり、まずはそこを充実すべきではないか。
【町長】英語漬けの教材



留学先のミッドパシフィック校

オーガニック給食を取り入れられないか

教育長 供給が可能となれば検討していく



ゆたか 豊 哲也 議員

【豊】本町はすでに多くの事業者が有機農法に取り組んでおり、オーガニックビレッジ宣言を導入している日南町と比べても、宣言の実現が容易のはずだ。現在のこの宣言の導入に向けた検討状況はどのようになっているか。

【教育長】オーガニック食材の安定的な供給が可能となれば、検討していきたい。100%食材を取り入れるのはむずかしい。例えば一部の食材から取り組んだり、月に1回は、オーガニック食材を使うなどの手法がある。

【町長】関心のある人に集まってもらい、意見交換や支援方針の決定さらには関係機関との調整を進めていきたい。
【豊】日南町でも、令和6年秋から、オーガニック給食を開始する予定だ。大変いい取り組みだが、本町でも取り入れられないか。



アイガモロボットで除草

防災対策強化で安全安心な暮らしを

町長 さまざまな安全対策を実施する

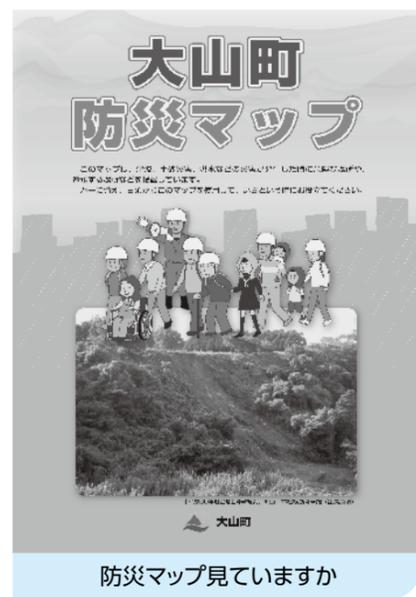


すきだによういち 杉谷洋一 議員

【杉谷】2級河川など管理の現状と対策は。
【町長】伐採や河床整備を県に要望している。
【杉谷】大規模災害時を考慮した防災マップへの更新は。
【町長】来年に向けて改訂版を検討している。
【杉谷】災害時の備蓄品の賞味期限を考慮した活用方法は。
【町長】被災地への応援物資や防災訓練時に活用している。
【杉谷】旧耐震基準の建物に対する耐震化率強化の対策は。
【町長】無料の耐震診断制度を設けている。
【杉谷】無料の耐震診断

【町長】2級河川など管理の現状と対策は。
【町長】伐採や河床整備を県に要望している。
【杉谷】大規模災害時を考慮した防災マップへの更新は。
【町長】来年に向けて改訂版を検討している。
【杉谷】災害時の備蓄品の賞味期限を考慮した活用方法は。
【町長】被災地への応援物資や防災訓練時に活用している。
【杉谷】旧耐震基準の建物に対する耐震化率強化の対策は。
【町長】無料の耐震診断制度を設けている。
【杉谷】無料の耐震診断

【町長】補助制度の準備など、さまざま安全対策を実施する。
【杉谷】学校での地震や津波など災害対策は。
【教育長】自然災害の勉強や避難訓練などを実施している。



防災マップ見えていますか

高齢者にやさしい 施策の検討は

町長 元気で活躍できる 施策を進めていく

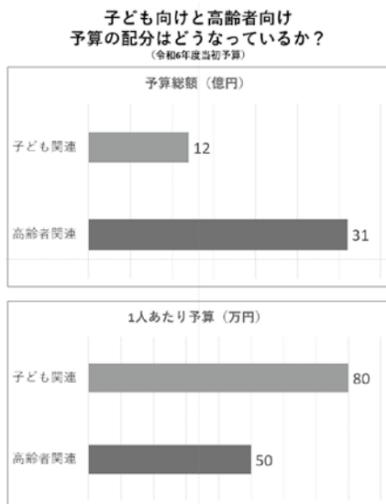


にしimotoのり と 西本憲人 議員

【西本】町内高齢者から「大山町は子どものことばかりで、高齢者になにもしてくれない」といった声をたびたび耳にする。

【町長】令和6年度当初予算では高齢者関連約31億円で、子育て関連約12億円になっていく。一人当たり換算すると高齢者関連が約50万円、子育て関連が約80万円である。

【西本】高齢者関連の予算総額は多いが、不満の声は高齢者への配慮が足りないことからくるものではないか。今後は団塊ジュニア



予算総額は高齢者関連の方が多く、1人当たりの予算は子ども関連の方が多い。

世代が高齢になり、独居の世帯が約6割で貧困も問題になってくる。高まる高齢者の就業ニーズへの対策は。【町長】就業意欲が高まっていることは把握している。シルバー人材センターの活用も一つの方法である。

そのほか、子どもたちの健康状態についての質問もした。本町の健康課題である、視力の低下、肥満、運動不足などの解決に向けて7つの項目を提案した。検討するとの答弁であった。

家族農業に 経済的支援を

町長 町独自の 支援策はむずかしい



おさわのほ と 大塚直治 議員

【大塚】国が推進する大規模農業は重要だが、自治体として中小規模の家族農業にもしっかりと目を向ける必要がある。

町内家族農業の現状についての認識は。【町長】町内1408経営体の内96%が家族経営で、農地の過半を占め、地域農業を継続する重要な役割を担っている。

【大塚】家族農業を支援し励ますために、草刈り機購入費・燃料費などの経済的支援をしないか。【町長】中小規模農家への支援は、所得向上、



草刈り機購入補助は農家を励ます

作業日数の軽減、作付面積の拡大など補助事業の要件を満たす場合に限っている。町独自の支援策はむずかしい。【大塚】イネカメムシ防除経費への補助は。【町長】県事業に乗せると町単独の支援をする。

ほかに、子育て支援として、子どもの均等割国保税の軽減・免除を求めた。また、放課後児童クラブやスクールバスの運用について、利用者の実態に配慮して行うよう求めた。

健康推進取り組みへの 体制づくりを

町長 各課で意識を持つよう 指示していく



いけだ ゆきえ 池田幸恵 議員

【池田】健康推進課と連携して取り組んでいる健康対策は。

【町長】令和5年度から健康推進課と長寿支援課が連携し、まちづくり課の協力を得ながら公民館や地域自主組織といった高齢者の集まる場所に向いてフレイル予防の教室を開いている。

【池田】健康は、お金で買うことのできない最高の財産だと考える。また、生まれてから亡くなるまで続くものでもある。年を取ってからのフレイル対策ではなく、日ごろから各課が連携し



地元を楽しみながら健康づくり

健康推進に取り組み体制づくりに取り組まないか。【町長】建設課の街灯整備により、真っ暗だった道がウォーキングコースに活用されている。直接間接問わず、さまざまな課に健康づくりの意識を持つよう指示していく。

イネカメムシ 防除対策は十分か

町長 ドローン防除も 活用したい



おさわひろし 大原広己 議員

【大原】今年イネカメムシの甚大な被害が想定されるが、対策は。

【町長】南部町の中生品種(きぬむすめ、日本晴)で、3割の収量に落ちた圃場も出た。今年、県が中生品種の委託防除に対し、半額補助事業を実施するので、町は県事業に乗れない部分を補完する。

【大原】一圃場一事業でよいか。【町長】そのとおり。【大原】近年は、防除されない農家も増えてきた。町の事業での2回防除の前提は、ハードルが高くないか。



拡大するドローン散布

【町長】今後、関係団体と協議する。【大原】委託防除が増えることが予想されるが対応は。【町長】JAのヘリ防除も手一杯なので、大型農家保有のドローン防除も検討していく。【大原】出穂期までにいきたい。

時間が少ない。今年も夏の猛暑が予想される。被害によって、多数の兼業農家が離農すれば、今後の集落維持に影響が出るが。【町長】町としても、ドローン防除の情報を、できるだけ早く発信していきたい。

道の駅

大山恵みの里の今後は

町長 現状では新たな機能はむずかしい



島田一恵 議員

【島田】道の駅の観光案内の対応は。
【町長】常に窓口にいる状況ではないが、すぐに対応している。
【島田】生産者の思いを伝えるためにポップなどを魅力アップは。
【町長】商品の見せ方に対してポップの表現などを公社に提案する。



道の駅 大山恵みの里 キャンピングカーの利用も増えている

【町長】道の駅の今後、人が安心して利用できるキャンプサイトの整備は。
【町長】オートキャンプを含めて、キャンプ場の整備は取り組む。
【島田】全国の道の駅は、温泉や遊び場などもあり楽しめる場所となっている。



小谷英介 議員

消滅可能自治体からの脱却を

町長 女性視点で改善策を検討したい



岡田 聡 議員



【岡田】人口戦略会議が今後30年間で消滅する744自治体を発表した。県内で6町、本町も含まれている。力を入れてきた人口減少対策、何が足りなかったのか。
【町長】大きな施策の違いはないと考えている。若年女性人口の減少率50%が基準となっている。本町は2020年には50・4%とあとわずかで基準に達していた。

政として支援できないことはないか。
【町長】魅力的な働きやすい職場は誰にとっても必要であり、行政としても率先して進めている。
女性視点で改善策をさらに検討したい。

そのほか、防災・減災・安全について質問をした。
「家屋の部分的な耐震改修の補助制度の創設を検討したい」という答弁を得ました。

町のホームページは自慢できるか

町長 今年度中に改善の取り組みを行う



野口俊明 議員

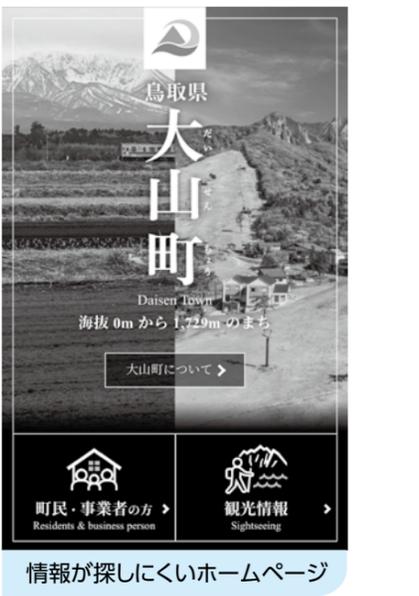


【岡田】若い女性の転出が多いのは、ジェンダーギャップが原因と言われている。魅力的な職場や幸せを感じられるライフスタイルなど、行



若年層の女性がカギ

【野口】町のホームページは自慢できるものになっているか。情報が探しにくいとの声もあるが。
【町長】情報が探しにくいという住民の声は確かに多い。これまでスマホ対応など、一部の改善の取り組みは行ってきたが、情報が探しにくい点が改善できていない。



情報が探しにくいホームページ

副町長 職員が力を発揮できるように取り組む



小谷英介 議員

【小谷】町長が、副町長候補者を選ぶときに、現在の副町長を適任だと判断した理由は何か。
【町長】人格、経歴、知識を総合的に判断した。また、経歴として、本町、旧名和町出身であり、文部科学省でキャリアを積んだ経歴を評価した。

【小谷】副町長の役割として、チームの調和を保つことが重要だ。組織の風通しが悪いという批判もあるなか、副町長はどのように取り組んでいるのか。
【副町長】出番があれば出て行くし、出番がなくとも何となくこの辺

【副町長】副町長は、副町長候補者を選ぶときに、現在の副町長を適任だと判断した理由は何か。
【町長】人格、経歴、知識を総合的に判断した。また、経歴として、本町、旧名和町出身であり、文部科学省でキャリアを積んだ経歴を評価した。



吉尾副町長 豊富な経験を町政に活かしてほしい

人手不足・

人材不足の対策は

町長 地域おこし協力隊も活用したい



近藤大介 議員

〔近藤〕町内のさまざまな事業所で、人手不足、人材不足が深刻な課題になってきている。町長の認識は。

〔町長〕ハローワーク米子の4月の有効求人倍率は1・36倍で、管内全体で慢性的な人手不足が続いている。

このほか、近々策定作業が始まる第3次総合計画について、ワークショップを用いて住民参画を進めるよう提案した。

一人でも多くの町民が参画できるように進めたいとの答弁だった。

〔近藤〕大山のスキー場では、働き手がないことが原因で稼働できないリフトがあったが、今後の対策は。



建設業でも人材不足が深刻

〔町長〕事業者の対策を確認し、町としても協力しよう。

〔近藤〕建設業や、介護福祉の現場でも人手不足、人材不足は深刻に

議会事務局紹介

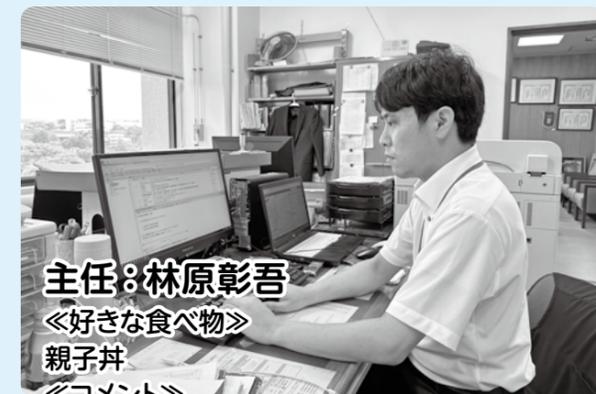
～議会を支える3人のプロフェッショナル～

議会事務局の職員は、スムーズな議会運営のためにさまざまな業務をしています。いわば、縁の下の力持ち的存在として議会活動を支えています。

4月の人事異動で、職員1人が異動となりました



※左から林原主任、関局員、野間事務局長



主任：林原彰吾

〈好きな食べ物〉

親子丼

〈コメント〉

住民課から異動となりました。議会事務は、これまでとは異色な仕事内容であり、とまどう毎日です。この「とまどい」を糧に、「プロフェッショナル」へと成長できるようがんばります。

あなたの声が町を動かす

議員と語る会



中山公民館

令和6年5月	参加者数	議員と語る会は年に2回、春と秋に開催しています。	
14日	名和会場	3名	春 3会場 (大山・名和・中山)
15日	中山会場	11名	
16日	大山会場	12名	
			秋 各集落へ

ご要望があれば、各種団体や集まりへも出張しますので、お気軽にご相談ください。

参加者の声ピックアップ

保育士の離職について

新人保育士が1年目から担任を任され、相談体制が不十分であったため、健康を損ねて退職した事例があった。
地元就職の若者を大切に、育成できる職場環境の整備をしてほしい。

議会での対応

令和6年度からは新人保育士は担任を持たない方針に変更したことを確認した。また、相談体制の充実など今後も調査提案を継続する。

アウトドアブランド誘致

大山寺のアウトドアブランド誘致について、公募と聞いていたが、昨年、町長から「ノースフェイスが来ます」と言われた。
事前に業者が決まっているのかなと、違和感を感じた。

議会での対応

全員協議会や豊議員による一般質問などで、業者選定のやり方に問題がないかを指摘した。不正はないとの回答を受けた。

その他の声

集落の掲示板、通いの場、各種検討委員会のあり方、職員の地域との関わり方、機構改革、デマンドバス、人間ドック補助、分譲地の看板撤去など多数

大山 トリビア 〔大山寺阿弥陀堂〕 平安初期に創建、藤原期に建立され、享禄2年(1529年)に山津波で倒壊。その後、天文21年(1552年)に再建されたといわれる室町末期の建造物。建物、仏像とも国の重要文化財に指定されている。

大山 トリビア 〔坊領道〕 奈良時代に創建された伯耆国大山寺への参詣道である大山道の主要五道(横手道・川床道・坊領道・尾高道・溝口道)の一つ。坊領集落を経由して大山に詣でる大山北麓の南北筋の道の総称です。

なり手不足!?

議員ってどうやってなるの？



次の大山町議会議員選挙まで約8カ月となりました。少しでも多くの方に“その気になってもらう”ため「議員ってどうやってなるの？」を掲載します。
イメージしやすいように、条件や準備するもの、選挙までの流れなどをピックアップしてみました。

大山町議員になるには

議員になるには立候補して、選挙で当選しないといけません。
選挙に出るためには条件があります。

- 条件**
- 日本国民で満25歳以上
 - 大山町の選挙権を持っていること
(引き続き3カ月以上大山町に住所のある者)

選挙でよく使われているもの

- 選挙カー
- 選挙事務所看板
- 選挙ポスター
- 白手袋
- 選挙はがき
- スタッフジャンパー
- 選挙タスキ



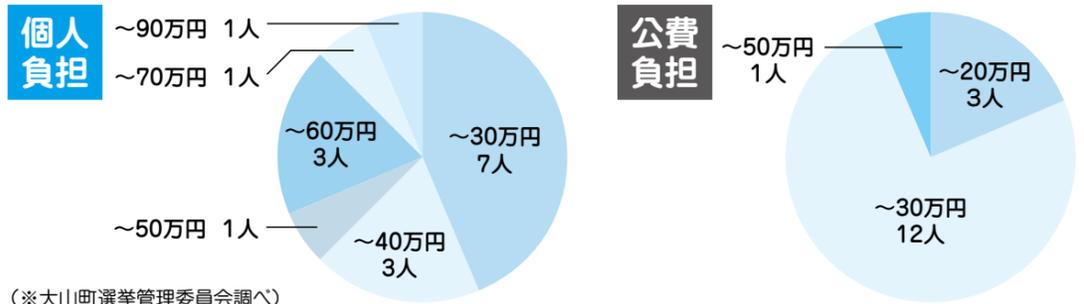
絶対必要なお金

供託金15万円

安易な立候補が乱立することを防ぐため、一時的に預けるお金です。
一定の得票（令和3年の選挙では58票）があれば、供託金は返還されます。

現職議員の使ったお金

前回選挙(令和3年)で当選した候補者の使ったお金です。



(※大山町選挙管理委員会調べ)
個人負担額は約20～80万円

負担額 約28万円
初めての立候補です。選挙カーは用意しましたが、道具は最低限にして家族の手伝いで予算を抑えました。
候補者Aさん

負担額 約50万円
たくさんスタッフを雇って人件費・食料費に多くお金がかかり個人負担が増えました。
候補者Bさん

見積もってみます！

準備物	金額	公費負担	個人負担
選挙カーレンタル代	269,000	79,000	190,000
選挙カーガソリン代	15,000	13,000	2,000
選挙カー運転手報酬	62,500	62,500	0
車上運動員報酬(5日間)	75,000	-	75,000
ポスター制作費	150,000	139,000	11,000
弁当・茶菓子代	50,000	-	50,000
その他雑費	20,000	-	20,000
合計額	641,000	293,500	348,000

●上の図はあくまで参考です。●上記のほか準備期間に政治活動をするため多くの議員がリーフレットを作成しています。

まとめ

選挙費用は人によって違う！
必要な選挙費用は、候補者のキャラクターや考え方、環境・予算によって変わってきます。どのように選挙を戦うか、じっくり考えてみてください。
重要なことは“人によって最低限必要なものは異なる”と言うのがポイントです。

次号では立候補から選挙までの動きを解説します。

一言メモ 政治活動として後援会をつくり後援者を募集するには、政治団体を立ち上げて活動する必要があります。政治団体の収支は鳥取県のHPで毎年公開されています。

一言メモ 町議会議員選挙の期間は5日間しかありません。しかし、事前にリーフレットなどを作り後援会の会員を集める政治活動は可能です。

議員討論会ダイジェスト

大山町の観光振興について

6月定例会で恒例の議員討論会が行われました。テーマは「大山町の観光振興について」です。観光振興のために町が取り組むべき優先課題や具体策について、活発な議論が展開されました。以下は、各議員の発言の要旨をまとめたものです。 ※門脇議員・大森議員は欠席



詳細は YouTube 動画でご覧いただけます。左記の QR コードから動画にアクセスしてください。

池田議員



町民が地域を楽しむことが大事

大山町民として、町の楽しいことや自慢を知り、それを観光客に伝えることが重要だ。町民自身が楽しみ、自然の恵みを生かした環境を自慢できるようになることで、観光の呼び水となる。

島田議員



観光振興のための企画力と戦略

大山町の観光振興には、白馬岩岳のように、企画力や戦略を持つ人材が必要だ。外部の専門家を招聘し、町全体のマーケティングとプロデュースをしてもらい、観光業で日本一の町を目指すべきだ。

西本議員



人材不足とチームの重要性

人材不足が課題となる中、若者と年配者でチームを作り、マーケティングを若者に任せ、経験と知恵を年配者から引き出すことが大切だ。ボランティアでは継続できないため、収益を発生させながらアクションを行うチームづくりが必要だ。

本日のまとめ



米本議長

観光振興には各ポジションの人材育成が重要である。地元の人材を発掘し、観光振興に生かすべきである。また、観光戦略の実行力を高めるための組織づくりが必要である。7月に行う予定の行政視察などの機会を生かし、観光人材の育成を議会として学んでいきたい。

大山 トリビア 「退休寺勅使門」 火事で焼失するも、承徳2年(1653年)に再建された。門扉には「菊の御紋」が掲げられている。御小松天皇御(一休さんの実父)宸筆の勅額には「金龍山」と記されている。

吉原議員



情熱と行動力のある人材が鍵

大山町には、歴史や自然など、観光資源は豊富にある。この豊富な資源を生かす情熱と行動力のある人材が鍵となる。地域おこし協力隊の活用や行政のトップのリーダーシップが必要だ。

豊議員



いまいる人材を生かそう

今すでにいる豊富な人材をしっかり活用することが重要だ。地元の事業者を、情報発信の面で支援することや、全体の戦略を考えられる人材を活かすべきだ。DMOの検討委員会でも貴重な意見が出ているが、意見集約がうまくいっていない現状がある。

小谷議員



屋台コミュニティで人材育成

夏山開きでは屋台ブースで多くの人が大山の食の魅力を味わった。これをもっと発展させて、1年間通じてさまざまなイベントに参加する屋台コミュニティづくりを仕掛けてはどうか。行政は、出店場所の確保や、専門家派遣、メディア活用などで後方支援し、屋台コミュニティを通じた観光人材育成に取り組むべきだ。

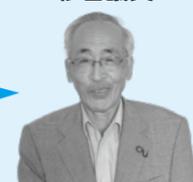
大杖議員



原点に立ち戻ろう

大山町の観光振興は、原点に立ち戻ることが大切だ。観光は、国の「光を観る」ことであり、自分の町や行事、地元の食などを味わいに来てもらい、おもてなしの心を育むことが観光の原点だ。対象となるお客様は、親戚や友人から始まり、その人たちの周りの人に少しずつ広げていくことが大切だ。

杉谷議員



豪華客船の誘致と観光資源の活用

境港に寄港する豪華客船の乗客を大山町に呼び込むための戦略が必要だ。町内全体の歴史文化を巡るルートや美しい風景、おいしい食事などをうまく組み合わせPRするべきだ。

近藤議員



宿泊施設の重要性

観光客が泊まりたいと思う宿が少ないのが課題だ。宿泊施設の充実が観光振興の鍵となる。インパウンド対応やガイドの育成など、観光客に満足してもらうための環境整備が重要だ。

岡田議員



観光施設の磨き上げと長期滞在促進

旅行者に、少しでも町内に長く滞在してもらうために、観光施設を磨き上げて、つなげていくことが重要だ。外国人の長期滞在を促すためにも、スキー場や町並みの改善が必要である。

野口議員



ロープウェイの設置

大山は全国的に見ても観光資源が磨かれていない。例えば、ロープウェイ設置やトレッキングロードの整備など、他地域に負けないような魅力あるまちづくりが必要である。

大原議員



まずは地元の活性化

観光振興のためには、まず地元の行事や団体の活動を復活させることが重要だ。コロナ禍で多くのイベントが中止されたため、元の状態に戻す努力が必要である。若い人もどんどん地域の行事に関わってほしい。

大山 トリビア 「所子重要伝統的建造物群保存地区」 国内の重要伝統的建造物群保存地区の中でも数少ない「農村集落」の一つ。農業を生業とした特色ある伝統的建造物群が周囲の農地および水路と一体となって歴史的風致を醸しだしている。



姉妹都市テメキュラ交流30周年を迎えて

カルフォルニア州テメキュラと育まれた30年の思い

1994年に正式にスタートし、幾多の社会情勢や自治体の状況を乗り越え、相互理解を通じて30年に渡る友情を培ってきた軌跡は、全国でも稀有な交流事業です。

旧中山町から始まり、これまで中学生を含む、延べ350人以上の町民を派遣し、フレンドリーで心温かいテメキュラ市民とホームステイを通じた深い絆を築いてきました。



テメキュラ市役所

30周年記念事業の紹介

テメキュラ市からの訪問団9人を迎え、6月6日に中山生活想像館で記念式典や記念植樹を行い、夜には記念パーティーで交流を深めました。

8日は中山国際交流協会の主催で、書道・茶道・琴・着物の文化体験を楽しみました。



中山国際交流協会
役員 福永 恭子さん

交流協会主催の1日の計画を綿密に立て、ゲストに楽しんでもらうことができました。

心と心の絆を大切に、永遠の交流あれ!と願うばかりです。

コロナ禍など交流の困難な年もありましたが、友好交流の情熱は衰えることなく、今後も継続する約束ができたことが大変嬉しく、すべてに感謝します。



中山国際交流協会
会長 平福 孝さん

あしがき

来年、大山町は合併20周年を迎えます。4月には町長選挙、町議会議員の選挙も行われます。

近隣町村では無投票になる選挙も珍しくありませんが、大山町の活発なまちづくりを進めるため、活発な選挙を期待します。

今回の議会だよりでは、「議員ごとうやってなるの？」の企画ページも掲載しています。

議会だよりが、まちづくりへの積極的な参画について考えていただくきっかけとなれば幸いです。

(近藤大介)

発行責任者

議長 米本 隆記

広報常任委員会

委員長 小谷 英介

副委員長 近藤 大介

委員 吉原美智恵

委員 大森 正治

委員 大原 広巳

委員 池田 幸恵

委員 豊 哲也

委員 西本 憲人

議会だよりのご感想をお寄せください